



梓 あずさ
……



彼女の裏の…

知らない顔で

声で

乱れていた
彼女を

見て…
聞いて…

本当の彼女かもしれない
顔を知ってしまった

彼女にとって
そこが

正しい居場所
なんじゃないかって

生徒会室

ガラッ…

望まなくして

準備室

彼女がそこに
至ったのだとしても

ここよりも
そこの方が

ふさわしいんじゃないかって…



そう思って
しまうほどに...

あ♡

あ♡

あ♡

は♡

あ♡

や♡

ピッピッ
ピッピッ
ピッピッ
ピッピッ
ピッピッ
ピッピッ
ピッピッ
ピッピッ
ピッピッ
ピッピッ



俺には...



頭に残って
離れなかった

梓の表情



ちよっ

副会長…!?

ふふ♡

こんなに
しちゃって…

そのまま梓ちゃん
見てていいわよ



!!



ちゃんと…
来てくれたのね

ほ♡

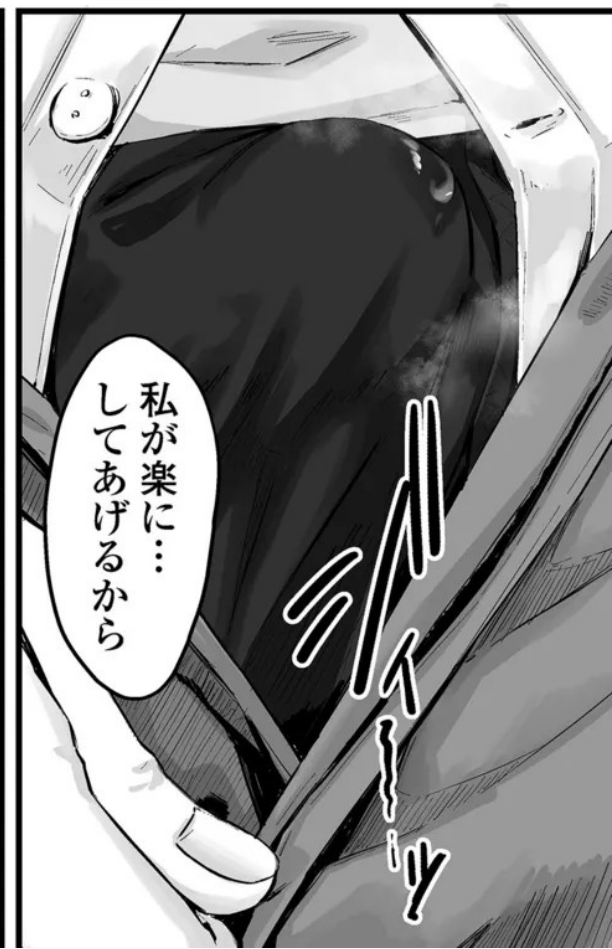


ぐッ……



あっ…

染み出て
きちゃってる



私が楽に…
してあげるから



あつ……



く……

んんんん♥

はっ……

どろろっ……
気持ちいいの？

はっ♥

あっ♥







ちよつ…

んーん

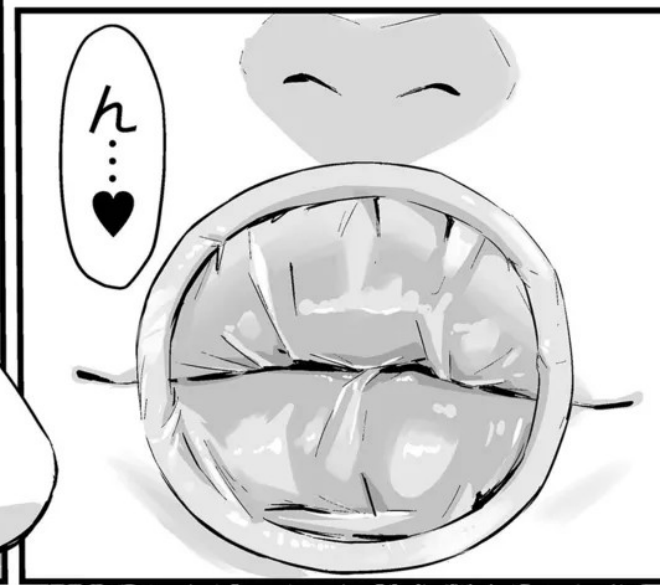
んーん
うごかないで♡♡

やめッ…!



何を…?

キ



ん…♡



あ
あ
あっ

んむ♡

んぶぶ♡

うっ…

ん…♡

キ





朝
バター
バター
って
しちゃって……

ち
ち
よ
つ
と

あ
こ
れ
ー
?

あ
れ
?
梓
今
日
ど
う
し
た
の
?



.....



梓
に
し
て
は
珍
し
い
ね
!

髪
も
:
ボ
サ
ボ
サ
だ
つ
た
か
ら
ま
と
め
ち
ゃ
つ
た
の
:

そ
そ
う
か
な
ー
?





高校生になつて…

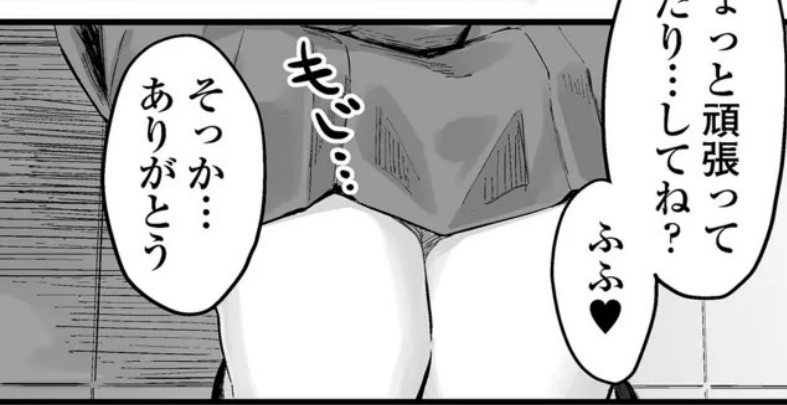
翔太が自慢できるような彼女に…

ならなきや
しつて



翔太のおかげ…

うん…

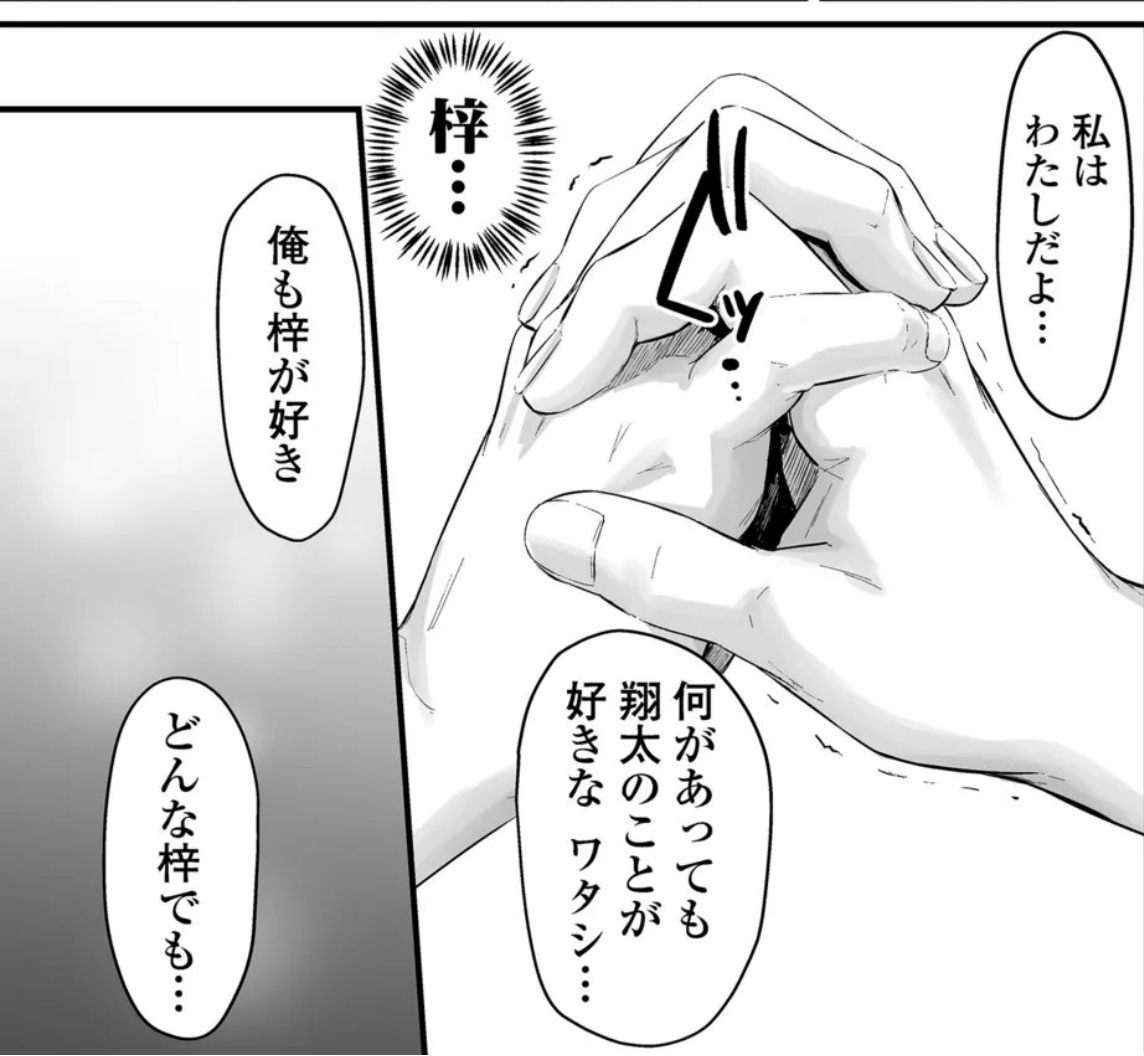


ちよつと頑張つて
みたり…してね?

ふふ♡

そっか…
ありがとう

もじもじ



私は
わたしだよ…

梓…

俺も梓が好き

どんな梓でも…

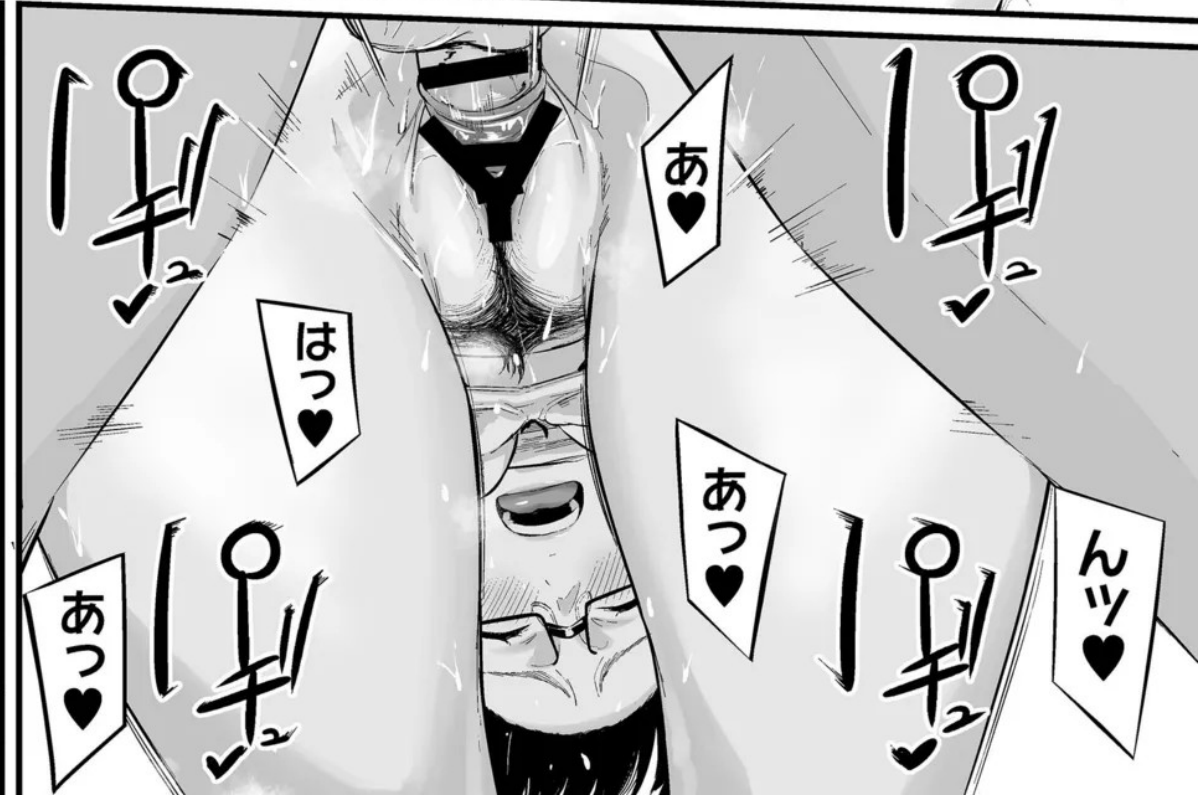
何があつても
翔太のことが
好きなワタシ…



でもさ

梓は梓のまま
いてくれたら俺は…

今は逆に
俺が梓にとつて
ふさわしく…





ただって
危ないでしょ？
たぶん？

つけたままが
良かったの？

えっ！
それは……

じゃあ
次の…時ね



あ……

フッ

メガネ取るんだ



俺だけが好きだった

梓の

知らない顔……

俺じゃ見ることは
できなかつたかもしれぬ

梓……





無力なまま

月日は過ぎて



今日で僕はここから
いなくなるけど

三人なら上手く
やれるはず!

まあ何かあったら
相談乗るから

そんなに遠くに
行くわけじゃないし

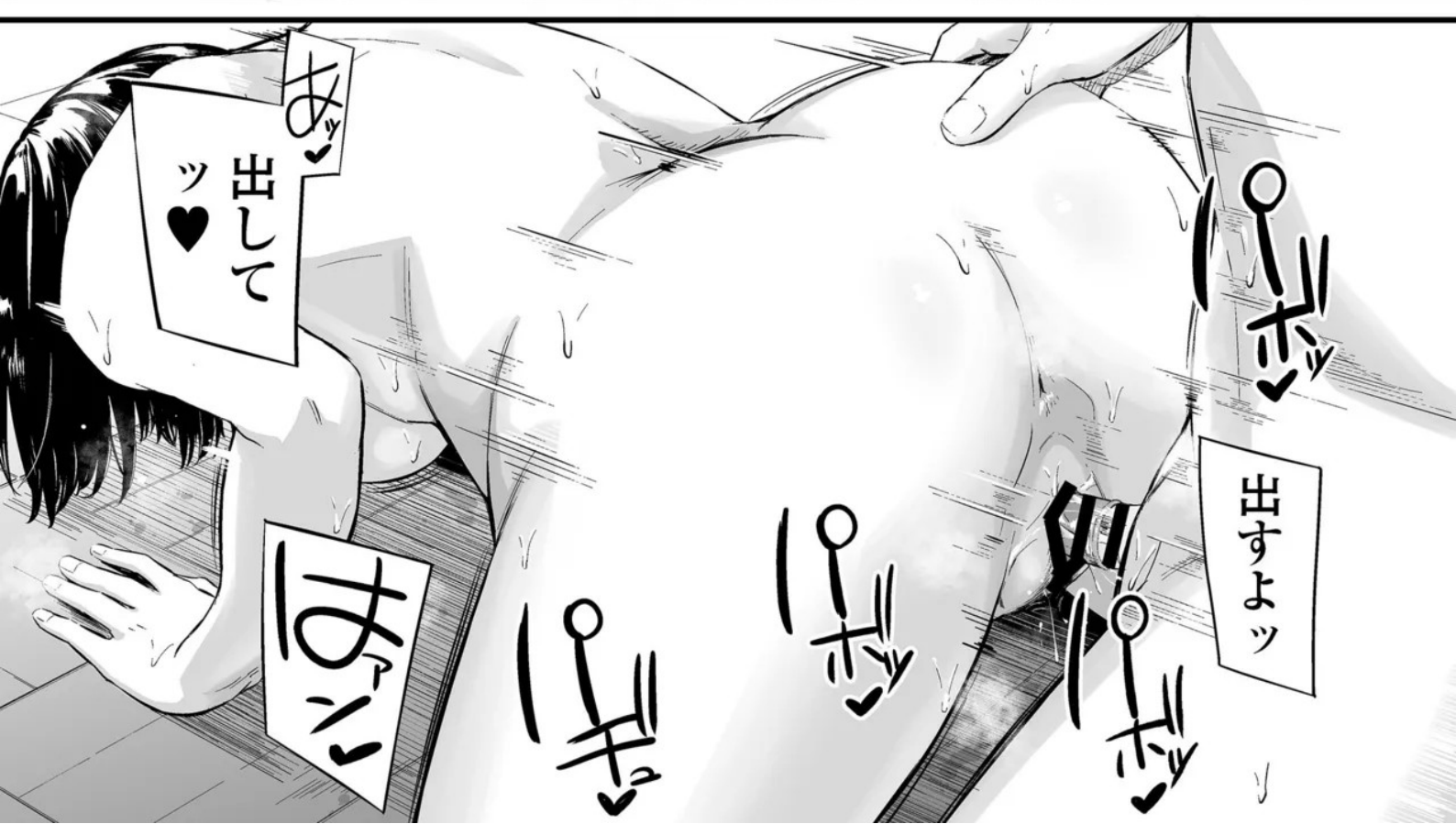
でも...

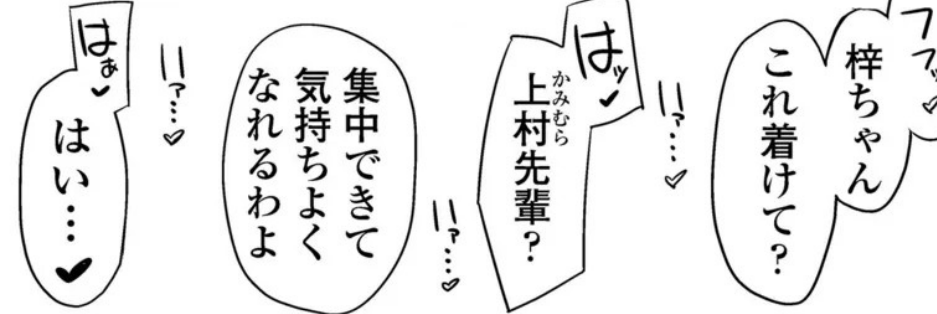
この場所で
みんな
愉たのしめるのは
最後...



だから...

存分にね?

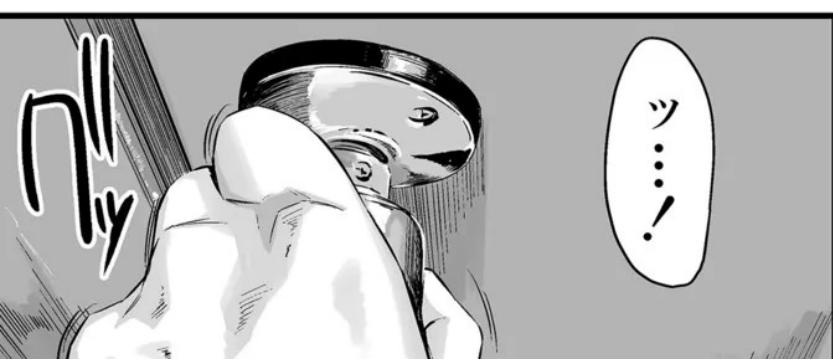
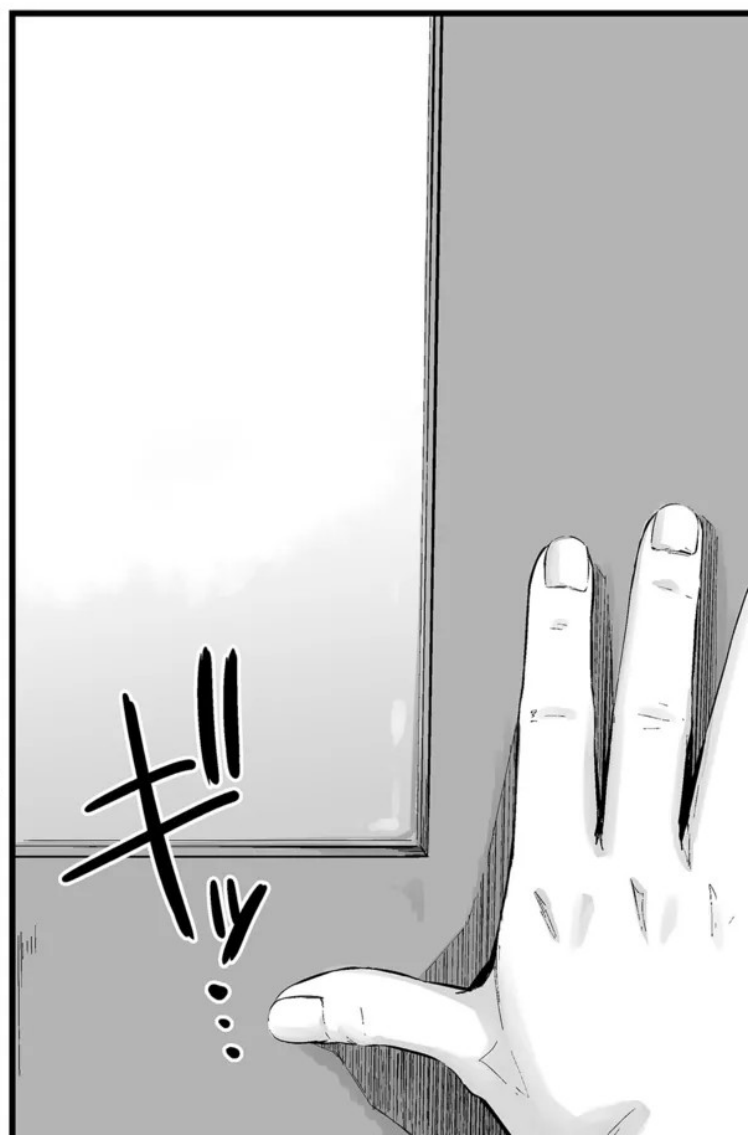
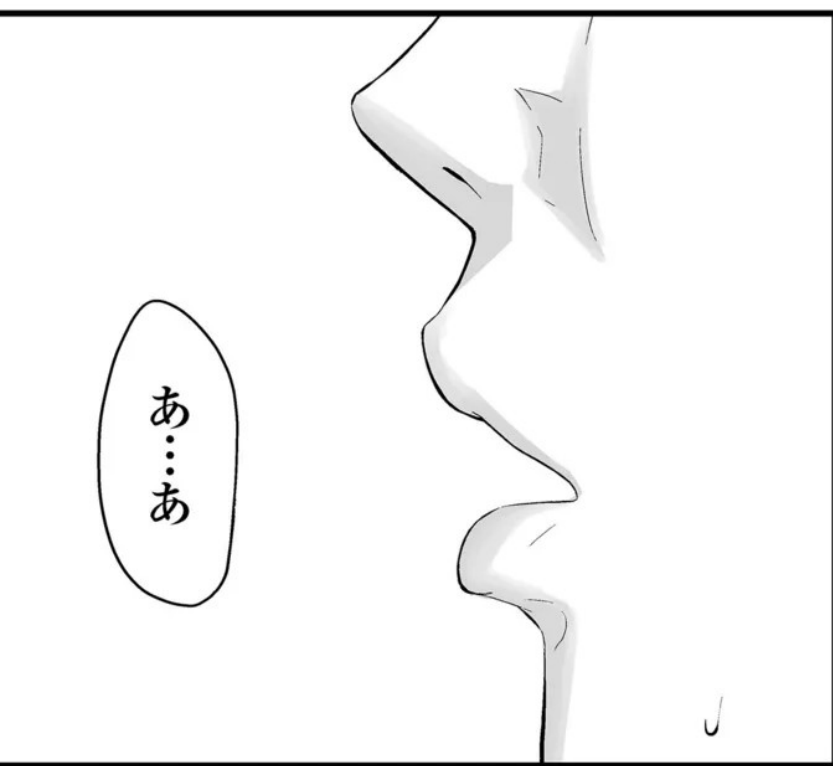








ツツツ





梓...

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

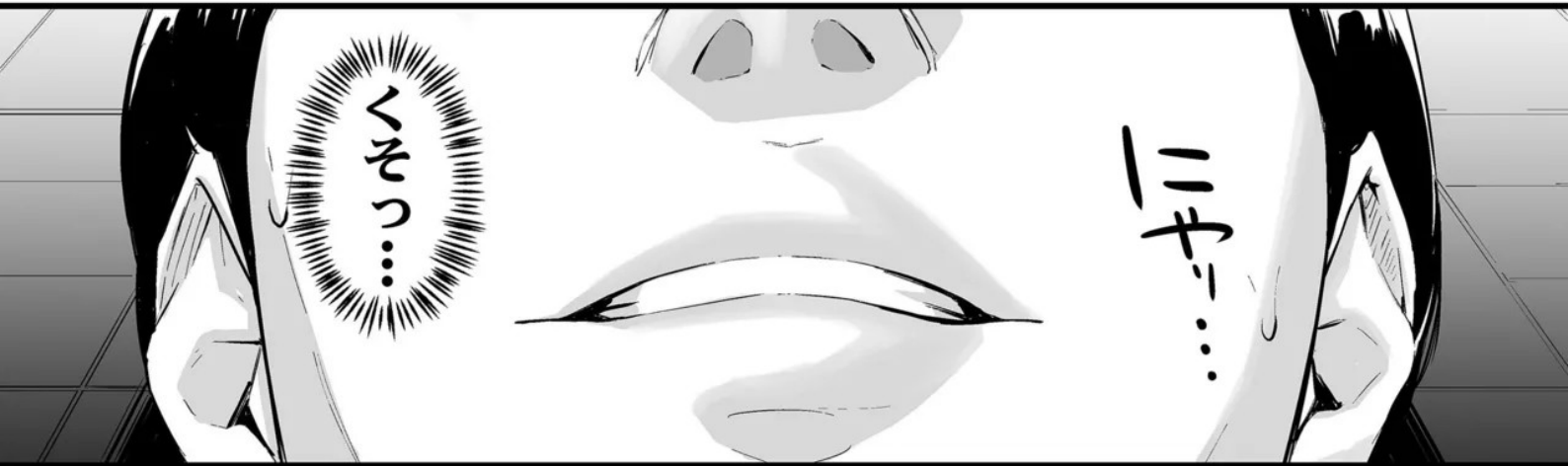
はっ♡

はっ♡

んっ♡...

はっ♡







ねっ
梓ちゃんの隣
いこっ



ほらっ

横に
なっ...?



あざわあ...

俺は
どっしり...!



私達は
引き止めたりは

しないから

あつあ…

う…
はあ…

んふ〜♡



ここから
梓ちゃんを奪い返して
逃げてもいいのよ？

ま…♡

でもー

どっちが
彼女にとって
幸せか…
考えて…？

俺は！

動かないなら
挿れちゃうわね…

あ

くそ…俺はッ
どうしたらっ

ん
っ

ズグズグ

声我慢
しちゃって…♡

はあ…♡

はあ…♡

梓のために
バレないように
しないと…

反応かわいいー♡





それに

エッチな本気汁で
ぐちゃぐちゃだ…

あ
いやっ…
そんなあ♡



ふっ
そろそろ
出そうだから

激しくするよ

はいっ♡



梓ちゃん自分から
腰…動かし
ちやってるね

ねえ梓ちゃん

最後に聞きたいんだけど…

はっ♡

あ♡

はっ♡
優♡

ほ♡

今日までの活動
どうだった？

あえっ♡
急にっ

先輩達っ

気持ちよかつたっ

ですっ♡

やっ♡りがい
あつて…

ん♡

梓…!?



あ♡

は♡

ぶっ♡

だめだ
もうっ



かいちよっ♡

痛い…梓…
こんな力入れてっ



彼のことは
好きっ…

生徒会ばっかで
彼氏には悪いこと
しちゃったかな？

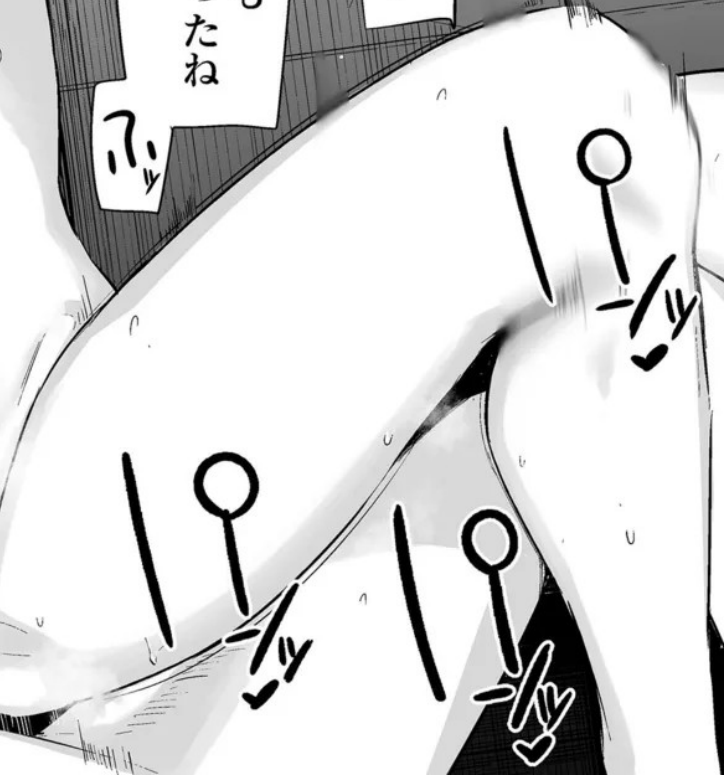
それねっ
会長はわたしの
気持がわかる♡

あ…

悪い子にも
なっちゃったね
梓ちゃん

好き…ですっ

あ…



あ…

好き…ですっ

あ…



はあ♡

生徒会に入っ

アッ

はっ♡

梓ちゃんがッ
こんな風に

いも

ふ♡

あ♡

アッ

なってるなんて
思わなかった
だらうね...!

出るッ

いも

イクよッ!

あっ♡



うッ...!!

ごめんなさいッ

今日で最後...だから
あッ♡

梓...!
ごめんッ

はあ

アッ

アッ



梓ちゃん...??

大丈夫?

外すわよ?

んう...

はぁ...

あ...

はぁ...

はぁ...

はぁ...



.....?

どうかした?

はぁ...

おつかれさま♥

はぁ...



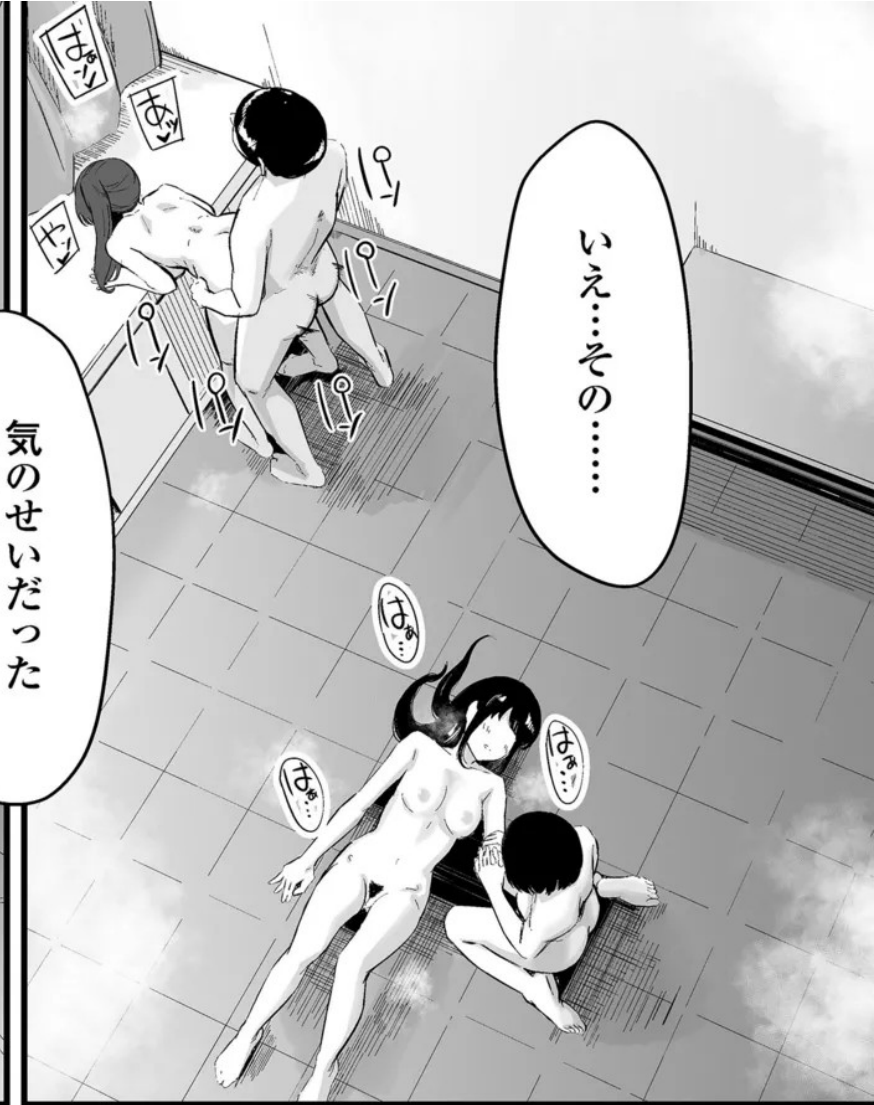
先輩...?

はぁ...

はぁ...



気のせいだった
みたいです



いえ…その…



俺はどんな梓でも
好きでいられると
わかって—

もしもし？
翔太？

その後…

うん…！

集合…ね？

明日…
昼には入学式
終わるから



そして
梓を狂わせたあいつは
卒業していった…

もう多分これで
全てが元通りで…



うん：
ありがとう

じゃあ：
明日ね



今？
今からは：

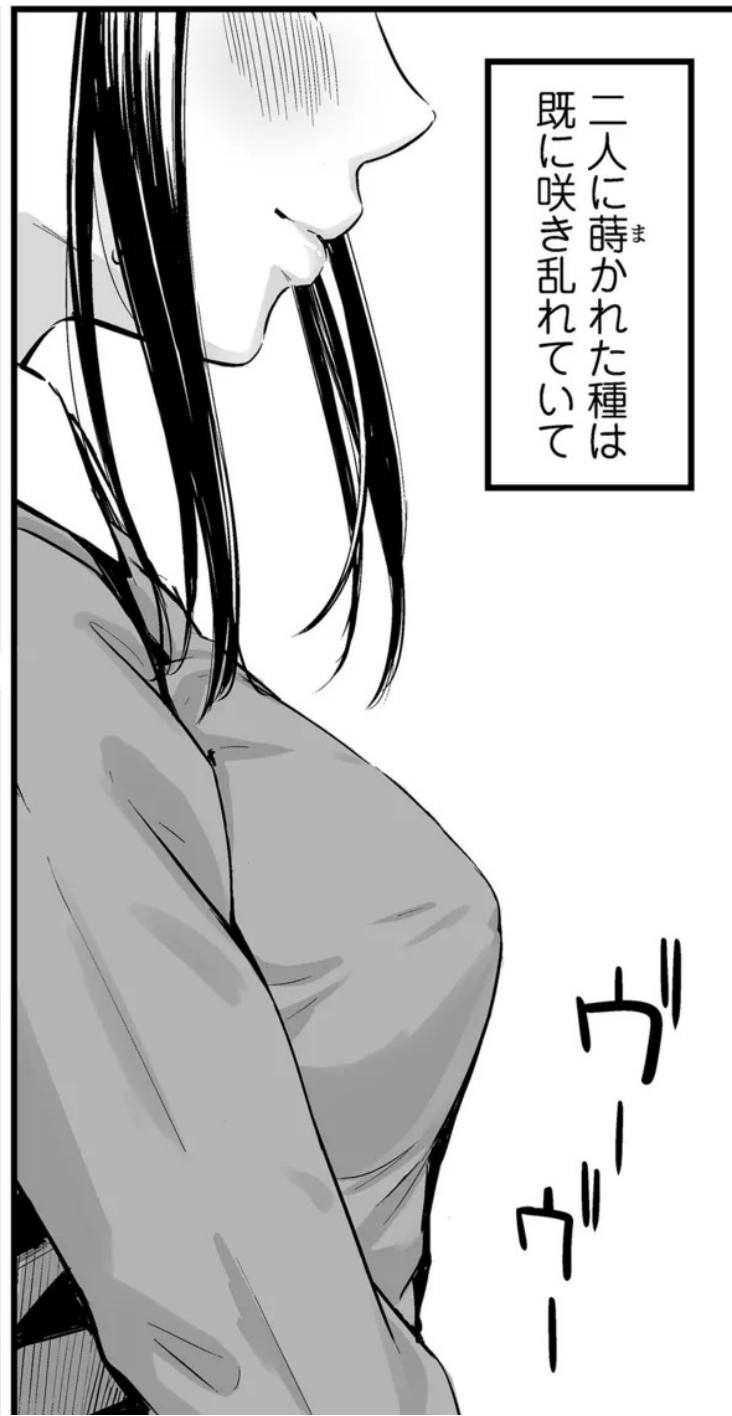
だけど：

上村先輩達と
明日の話し合い：
だよ？



お邪魔します…

ガ
チャ…



二人に蒔まかれた種は
既に咲き乱れていて

グ
ー
グ
ー
グ
ー



ふふ♥
嘘つかれちゃった？



生徒会室

でも…

あなたも
あなたよね？

自分から
ここに

来ちゃう
なんて



狂わされていたのは
彼女だけじゃなくて

俺もまた
—

“オキナグサ 狂咲”をお手に取ってくださり
ありがとうございます！
少しでも現実からトリップして
お楽しみいただけていれば幸いです……！

というわけで今作で
オキナグサのお話がひと区切り……、
ということで簡単に
あとがきのようなものを
書いてみている次第です。

本筋のお話は今作で区切りですが、
前日譚や合間の行事毎のお話等、
描きたいことがまだ残っているの
制作してどこかで発表できたらな
と思っております。(現在未定)

次回こちら(三崎さん)で
描かせていただく際には、
別の全く新しい作品になると思いますが、
その時はどうかまた
よろしく願います！

それではー！

でん
田スヶ

